

謹賀新年



鶴居村にて



年頭のご挨拶 千鷲会会長 佐藤 敏博



千鷲会 広報部作成

会員並びに賛助会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご家族の皆様と共に輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、皆様から千鷲会の各種事業・行事に変わらぬご支援・ご協力

を賜り、厚く御礼申し上げます。

久しぶりにお会いする会員、賛助会員の皆様の笑顔に接し、元氣や健康

三年余の間、新型コロナウイルスの影響により書面による総会開催や各種懇親会の延期・中止を余儀なくされてきましたが、昨年

はこれらを対面で開催することができました。

しかしながら、蔓延期間での会活動の抑制や会

でなければならないこと

員間の接触機会の減少により、やや希薄となり始めた会員相互の結束・会員数の減少等、今後の課題も表出しています。

このような状況の中、昨年の基地慰霊碑周辺の環境整備事業を准曹会の役員のご協力を頂き合同

で行い、現役の時から千鷲会の活動を通じて理解を得ておくことは、退官者の入会促進、会員の増加のためには有効であると改めて感じた次第

です。

一方、我々会員においても、防衛省・航空自衛隊が急速な勢いで変革・

変化する中で後輩たちを応援し続けるためには、これらに追従していくことが必要です。

しかし「航空宇宙自衛隊?」「宇宙作戦遂行能力?」等は、我々が勤務した時代・経験からは全く想像できないものです。このギャップに

対して我々は高齢化を前提にしながらも、新しいことへの好奇心、そのための(そこそこの?)

柔軟な感性、心の若さを保つこと等が重要です。

また、千鷲会活動の一層の効率化・活性化のためには身近な事ですが、

先ずは行事等の参加の際に会員が旧知の友人会

に声を掛け合う等、より多くの会員が参加して、最新の知識・意見に接する機会を得たり、かつての同僚と共に汗を流したりと、その輪を堅実に拡大していくことから始めてみることにしましょう。

結びになりますが、ポストコロナの今、暗く長かったトンネルの先に光

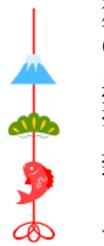
りが輝き出したようなこの時に、会員一人一人が創設時の趣旨を思い起こし、自らのペースでは

あっても積極的に活動を再開し、会員相互の親睦・

結束強化や強固な組織づくりに改めて挑戦しよう

ではありませんか。会員、賛助会員並びにご家族皆様のご多幸とご

健康をご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。



令和5年千鷲会サークル活動 (4月~11月)
山登愛好会 5回
ゴルフ同好会 8回
健康の為にも一緒に楽しみましょ
(参加希望は各幹事まで)



山登愛好会幹事
渡辺孝典 2419708



ゴルフ愛好会幹事
畑田信也 2414354